

# 平成27年度の決

## 平成27年度の事業概要は次のとおりです

### ① 給水状況

給水人口	77,184人	前年度比	868人 (1.11%) の減
給水戸数	32,310戸	前年度比	73戸 (0.23%) の増
総配水量	9,672,122m <sup>3</sup>	前年度比	25,430m <sup>3</sup> (0.26%) の減

(平成28年3月31日現在)

### ② 建設改良

施設では、主に向町浄水場の2号ろ過機改修工事や8号ろ過機ポンプ改修工事等を行い、管路では新たに水道管を約2.9km布設するとともに、老朽化した水道管を約5.5km布設替えを行いました。

これにより市内水道管の延長は約499.3kmとなりました。

## 中期経営計画の進捗状況をお知らせします

本市水道事業では、将来にわたり必要なサービスを安心・安定的に提供するため、厳しい社会情勢の変化に対応できるよう経営の総点検を行い、効率的・計画的な事業経営を行うため、平成24年度から平成28年度の5年間の「中期経営計画」を策定し、目標となる

経営指標を4項目定めています。

このたび平成27年度末現在の達成状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

今後も収入の確保や経費の削減に努め、健全な水道事業経営を推進していきます。

### 経営指標の達成状況

指標名	目標値	内容	分析	平成27年度
有収率	91%	総有収水量/総配水量×100	水道システムの効率性	89.8%
総収益対総費用比率	100%以上	総収入/総支出×100	収益性	113.3%
給水収益対職員給与費	7%以内	職員給与費/給水収益×100	費用	4.8%
職員1人当たり有収水量	700,000m <sup>3</sup> /人	総有収水量/職員数	生産性	723,524m <sup>3</sup> /人

**有収率** …年間総配水量に対する総有収水量の割合。この数値が低い場合は、漏水、メータ不感水量、管洗浄及び事業用水量等が多いことが考えられます。

**総収益対総費用比率** …総収益と総費用を対比したもので、100%が赤字・黒字の分岐点になります。率が高いほど経営状態がよいと言えます。

**給水収益対職員給与費** …給水収益に対する職員給与費の割合。職員数や人件費の水準をみる指標です。事業の生産性、効率性を表すものです。

**職員1人当たり有収水量** …職員の労働生産性をみる指標で、職員数が適正な規模になっているかを示すものです。